



成果指標				
成果指標	国民健康保険税収納率			
指標設定の考え方	自主財源確保の観点から、現年分・滞納繰越分を併せた収納率を指標とする。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標27年度
目標	84.45%	84.45%	84.45%	84.45%
実績	83.97%	83.78%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	2	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	全ての活動指標について、十分な実績を収めることができた。引き続き、滞納処分による徴収強化を推進するも、小額案件の処分方法については、効率面を考えた取り組みを検討する必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	概ね例年通りの徴収実績を収めることができた。引き続き、滞納処分による徴収強化を推進し、徴収率の向上を図られたし。また、今後は小額案件の処分方法について、効率面を考えた取り組みを検討する必要があると思われる。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	未だ収納率が高いとは言えず、滞納の原因を分析し、継続して納税を求めるとともに適切な滞納処分を行なうこと。

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。